

第10回記念祭を迎えて

学校長 清水 敬 治

台風一過、漸く勉学、体育のシーズンに入って本校でも10月1日より5日の日曜も含めて、多彩な第10回記念祭がくりひろげられる。いうまでもなく記念祭は、近くは新制の、遠くは草創の昔を偲び、現在に思いをいたし本校将来の発展を期するところにその本領がある。その本領を発揮するには、何といっても、体育祭と文化祭それに校内音楽会を挙げねばなるまい。然し進んで名士の講演を聞き、名曲の演奏に耳を傾け、古典的な芸を見ることも意義深いことである。さびのある文楽をその一つに選んだことは若い世代の諸君としては心憎い着眼である。更に学生らしきと規律を失わないで祝賀的な余興もあってよい。記念祭は学校の指導の下に諸君の自治的な催しとして、そもそもの必要論から、時季、期間、内容実施の方法等について、ずいぶんと検討を重ねられて今日の運びとなったのであるから定めし立派な出来ばえに終始することであろう。私は大きな期待をもって、記念祭を待ち待っている。

自治会長 佐野 真 章

過去に幾多の先輩が若き血を燃し、現在なおゆるぎなき発展を続ける記念祭も今年で第10回を迎え、創立18周年、自治会発足10周年を記念して10月1日より向う5日間の開幕の運びとなったが、今回の記念祭を計画するに当っては長期間、多方面に亘っての真重なる論議検討が加えられ、その結果従来の形より一步脱して充実刷新を計ることになった。そもそも記念祭の意義と云えば、自治会活動を中心としたわれわれの日常の錬磨研鑽の結晶であり、又高度な文化、芸術にふれ高校生としての教養を深めると共に、より高き人間形成を目指すことにあると思う。今回計画した各行事はいづれもその目的達成にかなったものであると確信している。しかし重要なことは行事そのものの内容よりも私達が如何にそれを運営して行くかにあると思う。全校生が一同となって一致協力して行かなければならぬ。常に新しい気持と規律ある態度をもって臨むことが必要だ。是非とも第10回記念祭を成功させようではないか。

わが青春わが学園に幸多からんことを祈りつつ……。

芦 屋 高 校

創 立 18 周 年

自治会発足 10 周 年

第 10 回

記 念 祭

9 月 30 日 (火)	前	夜	祭
10 月 1 日 (水)	体	育	祭
2 日 (木)	鑑	賞	会
	講	演	会
3 日 (金)	音	楽	会
4 日 (土)	文	化	祭
5 日 (日)	文	化	祭
	終	幕	祭

兵庫県立芦屋高等学校自治会

第13回 体 育 祭

〔雨天の場合は10月6日(月)に延期〕

10月1日(水) 午前8時30分 於 大運動場

開 会 宣 言

開 会 式8:30

第10回記念祭賛歌吹奏
 学 校 長 挨拶
 自 治 会 長 挨拶
 校 歌 斉 唱
 宣 誓

演 技 —午前の部—

- 1 全 校 体 操 (全 員)
- 2 200 m 予 選 (1.2.3年男)
- 3 100 m 予 選 (1.2.3年女)
- 4 5 種 目 100 m (有 志)
- 5 面 描 き リ レ (2年 女子)
- ⑥ 芋 虫 リ レ (1年 男子)
- ⑦ 竹 馬 リ レ (2年 男子)
- ⑧ 風 船 つ き リ レ (1年 女子)
- 9 5 種 目 砲 丸 (有 志)
- 10 自 転 車 運 乗 リ レ (3年 男子)
- 11 飴 食 い 競 走 (2年 男子)
- 12 ダ ン ス (1年 女子)
- ⑬ 水 く み リ レ (3年 女子)
- 14 猫 袋 リ レ (1年 男子)
- ⑭ 提 灯 リ レ (2年 女子)
- ⑮ 100 m 決 勝 (1.2.3年女)
- ⑯ 200 m 決 勝 (1.2.3年男)
- ⑰ 棒 倒 し (2年 男子)
- ⑱ マ ラ ソ ン (1.2.3年男)
- ⑳ ブ ッ シ ュ ボ ー ル (3年 男子)
- 21 タ ン プ リ ン グ (1.2年男子)
- 22 県 警 音 楽 隊 パ レ ー ド 12:00
- 23 運 動 部 行 進 (運 動 部)
- 24 対 部 リ レ 予 選 (各 部)

— 風 食 —

5 種 目 走 高 跳 ・ 走 巾 跳
 仮 装 行 列

— 午 後 の 部 —

25. 体 操 部 演 技 1:10
26. ダ ン ス (2年 女子)
- ⑳ 騎 馬 戦 (1年 男子)
- ㉑ 壘 球 (3年 男子)
- 29 対 部 リ レ 決 勝 (各 部)
- 30 百 花 煉 乱 (1年 女子)
- ㉒ 障 碍 物 リ レ (2年 男子)
- ㉓ 1500 m 決 勝 (1.2.3年男)
- 33 5 種 目 400 m (有 志)
- 34 美 人 誕 生 (3年 女子)
- ㉔ 脱 獄 囚 の 足 跡 (3年 男子)
- ㉕ ク ラ ス 対 抗 リ レ (1.2.3男女)
- 37 来 賓 職 員 演 技 (来 賓、職 員)
- 38 ダ ン ス (3年 女子)
- 39 網 引 き (1年 男子)
- 40 学 年 対 抗 リ レ (1.2.3男女)
- 41 グ ラ ン ド ・ マ ー チ (3年 男女)

(○印は得点種目)

閉 会 式4:00

成 績 発 表

賞 品 賞 状 授 与

- 市 長 杯 5 種 目 競 技
- 市 教 育 委 員 長 杯 男 子 200 m
- 学 校 長 杯 男 子 1500 m
- 育 友 会 長 杯 対 部 リ レ
- 同 窓 会 長 杯 男 子 マ ラ ソ ン
- 自 治 会 長 杯 女 子 100 m
- 執 行 委 員 会 賞 応 援、仮 装 行 列

運 動 部 長 挨 拶

学 校 長 所 感

自 治 会 歌 斉 唱

閉 会 宣 言

種目解説

☆ブッシュボール

直径6尺の大玉を頭上にかざして（御こしてはありません）200人が声を和して押し合う「それ、ワッショイ！ワッショイ！」

☆奪球

ラクビーボール5つをパスと奇襲戦術で相手ゴールにトライ。

☆猫袋リレー

猫面をかぶり頭でバスケットボールを押ししていく。その姿は玉にじゃれつく猫のようである。ようちなものだぞ。

☆芋虫リレー

袋に体を入れよちよち走る。まるで赤ん坊ですなあ。這わずに立って走る芋虫とは……。

☆百花療乱

2人3脚で枯木に花（造花）をつけて行きます。ハナサカジイサンさぞかしお喜びの事でしょう。

☆飴食い競走

メリケン粉の中に埋めた飴を手を使わずに食べる。食い気（飴）と色気（白粉）の問題！飴にありつけた時の顔に注目。

☆面描きリレー

グラウンド中央の大玉の10面に10の人面。はたしてどんな面が出来上がるでしょうか。

☆提灯リレー

記念祭10周年記念の提灯行列。「オット！あまり走っては火が消えますよ。」

☆脱獄囚の足跡

「おんぶ」：1人1脚、「3人4脚」：むかでのを完全にマスターして……。
世の中は真に相互扶助の世であります。

☆自転車遅乗りリレー

セパレートコースで1人1/4周をなるべく遅く走る。団体で5度以上足が地面につけば失格。ハンドルの切り方が見もの。

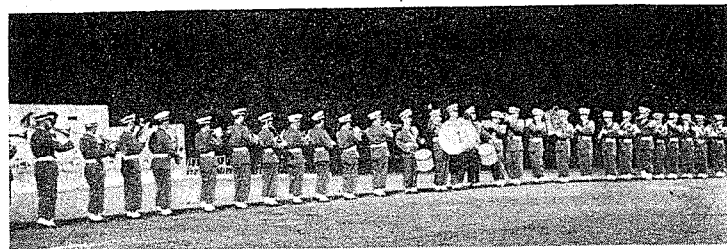
☆美人誕生

担任の教師をモデルに10人が分担して美人に仕立てる。どんなヴィーナスが誕生するやら。

☆グランド・マーチ

変形行進、これで体育祭をしめくります。

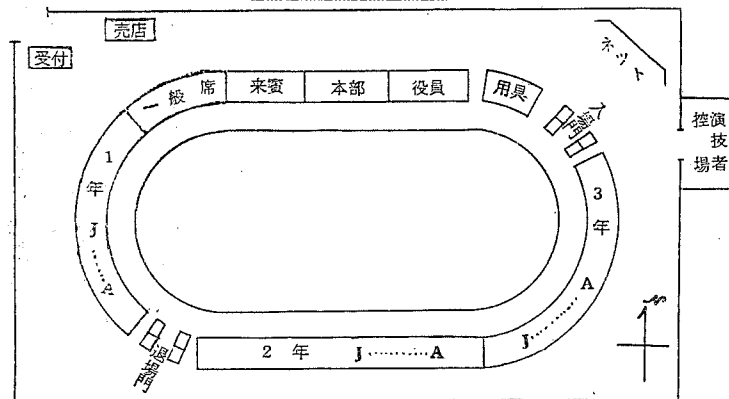
県警音楽隊パレード



（上の写真は去る8月30日西宮球場で行われたミュージカル・ナイターにおける県警音楽隊パレード）

戦前、規律を正しくするために行われていた行進に音楽を取り入れ、楽員が楽器を吹奏しながら指揮者の指示に従って一定の体型を作り上げて行くものを吹奏行進（パレード）と呼んでいます。その理路整然とした美しさはパレードの特徴とされています。当日の演技を簡単に説明しますと、まず現在流行の「クワイ河マーチ」で入場し、トランペットが華麗なファンファーレを奏します。続いてバスを要として斜十字に並び、「At the Post」、「名誉の指揮者」、「自由のために」、「プラスバンド・ブギ」、「N.C.4 March」等の名曲に合わせて風車体形、蛇行、対称移動その他美しい体形を次々と作り上げて行きます。入場より退場までの約15分間、息もつかせぬ名演技でパレードの面白味を充分に見せて下さることでしょう。尚兵庫県警察本部音楽隊は、全国に先がけて昭和26年に社会浄化運動促進の目的で発足し、現在では女笠博彦氏を指揮者として、34名の隊員で構成されています。

会場見取図



鑑賞会

古典芸術—文楽—特別鑑賞

10月2日(木) 午前9時30分 於 講堂



北岸 佑吉



豊沢猿二郎

- 1 講演 「文楽の芸術性について、
北岸 佑吉
「人形浄瑠璃の沿革、
豊沢 猿二郎
- 2 解説 「人形の遣い方、
桐竹 紋十郎
- 3 実演 「恋女房染分手綱、
道中双六・重の井子別れの段
文楽三和会

文楽三和会出演者

浄瑠璃	豊竹つばめ太夫
	ツレ 豊竹小松太夫
三味線	野沢喜左衛門
	ツレ 野沢勝平
人形	
家老 本田弥三左衛門	吉田辰五郎
腰元 お 福	桐竹紋弥
由留木家息女 調 姫	桐竹勘之助
馬士 自然薯の三吉 (実は重の井の子与之助)	桐竹紋二郎
お乳の人 重の井	桐竹紋十郎
宰 領 大 勢	
腰 元 大 勢	



桐竹 紋十郎



(重の井子別れより、右 紋十郎の重の井、左 紋二郎の与之助)

解説 恋女房染分手綱

この恋女房染分手綱は近松門左衛門の名作「丹波と作侍夜の小室節」を吉田冠子、三好松洛が改作したもので、200年余り以前に竹本義太夫、近松門左衛門の活躍により建設開場されていた竹本座で、吉田文三郎(作者名・吉田冠子)自身の手で初演された。これは原作の世話物を御家物式に仕立て直して筋を複雑にし、舞台上の技巧を豊富にしたもの。改作者文三郎は稀代の名手で、現在の人形の3人遣い形式もこの人により確立された。

又これは1. 東山の段、2. 涼みの段、3. 与作勘当の段、4. 重の井訶松の段、5. 道成寺の段、6. 孝行の段、7. 恩愛の段(坂の下の屋頭度政殺し)、8. 道行、9. 親里の段、10. 道中双六・重の井子別れの段、11. 旅籠屋の段、12. 帰参の段、13. 敵討の段、以上13段より成っているが、特に第10段の道中双六・重の井子別れは有名で全段をこの名で総称している場合が多い。

本校における公演も、この第10段を行う。

「内容」 丹波の城主由留木家の息女調の姫は幼年の身で関東の高家入間家へ養子嫁御と決り、出立という時にむずかり出しお乳の人重の井をはじめ、皆が困っている折、子供の馬士自然薯の三吉が登場、道中双六など出してゲームをしながら、面白い話をするので姫の機嫌が直った。この三吉は元由留木家の臣伊達の与作を父に持ちながら、悪者のざん言で故国を走り馬追いに零落していた重の井の子であったため姫の乳母の名を重の井と聞いて、「私の母様」と取りすがった。守り袋を証拠に、「父様と一緒にいて下さい、父様母様育てます」と、母を慕う三吉の願いは切ない。母の心も千々に乱れたが、ここでも封建の風は冷く、馬士が乳兄弟と知れては養い君の名庇と、三吉の振舞いを軽卒とたしなめる。姫の駕籠先きになって「坂は照る照る鈴鹿はくもる」と涙ながらに啣う三吉の姿が儚々しく、哀切極らない段切を展開する。



豊竹つばめ太夫



野沢喜左衛門

講演会

第I部 現代の探検

梅棹忠夫先生

10月2日(木)午後12時30分 於講堂



講師紹介

大正9年京都市に生れる。三高を経て昭和18年京都大学理学部動物学科を卒業。専攻は人類学、生態学。現在大阪市立大学理工学部助教。先生は学生時代から、今までに7回すなわち白頭山(昭和15年)、冬の樺太(昭和15~16年)、ミクロネシア(昭和16年)、大興安嶺(昭和17年)、モンゴール(昭和19~20年)、カラコルム・ヒンズークシー(昭和30年)、東南アジア(昭和32~33年)の諸地方を探検され、人類学的な成果を収められております。

最近は、これらの貴重な体験にもとずいて近代探検史をまとめられつつあり、又昨年と今年の2回、中央公論の巻頭論文となった「文明の生態史観」は、学界は勿論、一般知識人に大きな反響をよび起こしました。これは探検による科学的な実証の結晶であると考えられます。著書としては、「モゴール族探検記(岩波新書)」と、訳書としては、「ヘインのゴビ砂漠探検記」があります。

講演のしおり

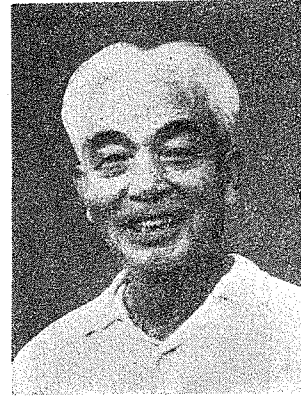
「我々がいろいろな地方に探検に行って研究する事は、その地方の環境と人間とがどのような関係にあるかという事だよ。」と何か深く考えるような態度で話される先生。「探検は科学研究の一方だだよ。」と方法論も一くさりやられる先生。「地球上で、地図のない地方というのは、今ではほとんど残っていない。地理的探検という意味では、現代はもはや探検の時代ではない。しかし人類学的探検という事になると、それはまだ始まったばかりである。私達は自分自身が人類の一員でありながら、人類の他のメンバーについては、しばしば意外な程、ものを知らない。これからは世界の辺境に住む人々を求めて人類学的探検隊がくりかえしくり出されなければならない……。(中略)……風俗、習慣、もの考え方の違う人達の中へ行って、うまく仕事をすすめるのは、なかなか難しいものだ。言葉が違い、宗教が異なると、ますますやっかいな事になる。ずいぶんおかしなトンチンカンが起るし、悪くすると生命の危険をさへまねく恐れもある。そういう人達と、どんな接触の仕方をすればよいか、それは理論や観念、あるいは単なる善意で片づく問題ではない。やはり現代の探検には具体的な経験の蓄積が必要である……。」とモゴール族探検記のまえがきに記されている先生は、学生時代から今までに前後7回いろいろな地方を人類学的見地に立って探検されております。特に、三高時代の「冬の樺太」探検では、犬ゾリの研究をされ、その後先生が京都大学に入られてから、その時の資料をまとめて「カラフトの犬ゾリ」という論文を書かれ、それはその種の研究において、今なお、日本では唯一のもので、南極観測隊の犬ゾリ研究の手がかりともなりました。これらの先生の豊富な体験を通しての近代探検史のお話は、先生が三高時代に、先輩格の今四(マナス路踏査隊長)、西堀(南極越冬隊長)両氏の「白頭山登山」の講演に感激されて、今やっておられるような仕事を一生の仕事としようと思われてきたという事を考え合わせても、必ずやわれわれ高校生にも充分興味をもって、楽しく聞ける事と思えます。

第II部 50年のテニス経験

清水善造先生

10月2日(木)午後3時 於講堂

講師紹介



明治24年群馬県養に生れた。明治45年東京高商(一橋大)卒。高商時代は軟式庭球界で活躍し、その後インドで硬式テニスをはじめ軟式を生かした清水流のドライブを工夫してたちまちインド選手権を獲得。大正9年ウィンブルドン全英選手権では球聖といわれたチルデンに決勝で惜敗。同10年熊谷、柏尾両選手と共に、日本として初のデ杯戦に出場、強敵オーストラリアを破り、チャレンジラウンドに進出した。その後同12,3,4,5年、昭和2年と6度デ杯選手、監督として活躍。現在日本庭球協会顧問、兵庫県庭球協会々長、芦屋国際ローンテニスクラブ副会長として後進の指導と庭球界の発展に尽しておられる。

講演のしおり

最後のセット。相手は清水のスマッシュを打ち返そうとして転倒した。清水はこの時相手の虚をついて、得点し試合を勝利に導く事ができる立場にあったのであるが、かえってロビング・ボールを返して、チルデンに立ち上る余裕を与えて、再び大接戦を続けた。ついに清水は敗れ試合は終わった。清水はさっとネットに走り寄ると、チルデンに握手を求めた。清水の顔には、もうあの激しい闘志はあとかたもなく、相手の勝利を讃えるかの如く静かな微笑さえ浮んでいる。それを見たスタンドからは、2度、3度嵐のような拍手が湧いた。時は1920年(大正9年)6月30日。夏の太陽が緑の芝生のコートに照りかえるウィンブルドン大会の決勝、日本の清水選手対米国のチルデン選手の試合での話である。このチルデン選手に対する清水選手の態度は、スポーツ史上極めて尊いものとされ、イギリスの世界的テニス評論家ウォーレス・マイヤースは同選手を試合態度の立派さでは、世界三傑の一人だと賞賛したと言われています。「この年になっても(先生は今年67才)全々病氣もせず、目も良く体はいたってよろしいです。これも若い頃にテニスをやったからですよ。まだまだいけますよ。」とボロシャツ姿で浅黒い顔をほころばせて語られる先生。「現在の日本の庭球が世界的にみて、見劣りするのには、庭球だけをしようとするからだ。つまり球を打っていさえすればよいという考えを持っているが、それは誤りで全てのスポーツに共通な事だが走る事すなわち脚力をつける事だ。結局ボールについていかなば打てないんだからね。今後の練習方法を改めるべきだ。又ブローチ制を実施する事も必要だよ。」とチルデンとの大熱戦を思わせる激しい口調で、批判される先生は、今まで50年間に数多く大試合の経験をされております。これらの先生の豊富な御経験からしみ出る何かは必ずやわたしたちの心を強く打つだろうと思われます。

音 楽 会

第 I 部 校 内 音 楽 会

10月3日 (金) 午前8時30分 於 講 堂

- | | | |
|------------------------|---------------|-------------------------|
| 1. 校歌、自治会歌、記念祭歌斉唱..... | 全 | 員 |
| 2. 吹 奏 楽..... | 演奏 指揮 | 器 楽 部 員 額 瀬 俊 輔 |
| 行進曲「双頭の鷺の下に」 | ワ ー グ ナ | 一作曲 |
| 〃 「士官候補生」 | ス ー | ザ作曲 |
| 〃 「勝利の父」 | ガ ン | ヌ作曲 |
| 3. 混 声 合 唱..... | 合唱 指揮 | コ ー ラ ス 部 員 若 城 正 博 |
| 月光とピエロ | 清 水 | 脩作曲 |
| 4. 琴 合 奏..... | 合奏 | 等 曲 部 |
| う わ さ い | 宮 城 道 雄 | 作曲 |
| せ き れ | 〃 | 〃 |
| 雪 の 雲 | 〃 | 〃 |
| 5. 独 唱..... | 独唱 伴奏 | 高 池 橋 上 俊 策 千 枝 子 |
| 遙かなるサンタルチア | ナ ボ リ | 民謡 |
| マリア・マリ | ナ ボ リ | 民謡 |
| 6. ピアノ独奏..... | 独奏 | 田 中 万 里 子 |
| ワルツ O.P.64 | シ ョ バ ン | 作曲 |
| 7. 二 重 唱..... | ソプラノ アルト 伴奏 | 戸 沢 晴 子 長 瀬 孝 子 青 木 洋 子 |
| ホフマンの船歌 | オ フェ ン バ ッ ク | 作曲 |
| あこがれの夢 | ホ ー ソ ン | 作曲 |
| 8. ヴァイオリン独奏..... | 独奏 伴奏 | 原 田 美 加 滝 美 音 子 |
| ロマンスへ長調 | ヴ ェ ー ト ー ベ ン | 作曲 |
| 協奏曲第1楽章 | ヴ ェ リ オ | 作曲 |
| 9. 独 唱..... | 独唱 伴奏 | 遠 出 藤 昌 秀 口 尚 |
| カロ・ミオベン | シ ョ ル ダ ー | ニ作曲 |
| うつつらの心 | パ イ シ ョ ー | ロ作曲 |
| 10. 男 声 合 唱..... | 合唱 | 3 年 H 組 有 志 |
| 別れの歌 | ト メ ル | 作曲 |
| 家路 | ド ボ ル ザ ー ク | 作曲 |
| ユニー・アー・マイ | 二 葉 里 志 | 編曲 |
| ・サンシャイン | | |
| 11. ピアノ独奏..... | 独奏 | 白 井 素 子 |
| スケルツォ | メンデルスゾーン | 作曲 |
| 12. 独 唱..... | 独唱 伴奏 | 井 本 友 子 長 沢 朋 子 |
| 子 守 歌 | シ ョ ス ラ ン | 作曲 |
| ああかの人は | ヴ ェ ル デ イ | 作曲 |

- | | | |
|----------------------|-------------------|---------------------------|
| 13. 第10回記念祭賛歌合唱..... | 合唱 | コ ー ラ ス 部 |
| 独唱 伴奏 | 津 田 泰 子 中 村 玉 恵 | |
| 14. 独 唱..... | 独唱 伴奏 | 岸 田 真 六 郎 中 郁 子 |
| 君の姿をめぐりて | イ タ リ ア 民 謡 | |
| 平 城 山 | 平 井 保 喜 | 作曲 |
| 15. クラリネット独奏..... | 独奏 伴奏 | 岸 田 真 六 郎 中 郁 子 |
| アンダンテカンタービレ | チャイコフスキー | 作曲 |
| ユーモレスク | ドヴォルザーク | 作曲 |
| 16. 混 声 合 唱..... | 合唱 指揮 伴奏 | 2 年 野 口 利 邦 組 道 子 青 泊 康 子 |
| 仕事の歌 | ロ シ ア 民 謡 | |
| 谷間の灯 | ア メ リ カ 民 謡 | |
| 17. 琴 合 奏..... | 合奏 | 等 曲 部 |
| 三つの民謡 | 宮 城 道 雄 | 作曲 |
| 18. 男 声 合 唱..... | 合唱 指揮 | コ ー ラ ス 部 朝 岡 康 郎 |
| 野 パ ラ | ウ ェ ル ナ ー | 作曲 |
| ロード・アイ・ウオント・ト | | |
| ウ・ビー・ア・クリスチャン | 黒 人 靈 歌 | |
| アニー・ローリ | ス コ ッ ト ラ ン ド 民 謡 | |
| 希望の道 | ハ ウ プ ト マ ン | 作曲 |
| 19. 独 唱..... | 独唱 伴奏 | 千 野 哲 夫 賀 口 陽 子 |
| 城ヶ島の雨 | 梁 田 貞 貞 | 作曲 |
| セレナーデ | シュ ー ベ ル ト | 作曲 |
| 20. ピアノ独奏..... | 独奏 | 竹 永 元 子 |
| 幻想即興曲 | シ ョ バ ン | 作曲 |
| 黒 鍵 | 〃 | |
| 21. 独 唱..... | 独唱 伴奏 | 上 田 知 恵 子 吉 田 幸 子 |
| チリビリン | イ タ リ ア 民 謡 | |
| セレナータ | ト ス テ イ | 作曲 |
| 22. ヴァイオリン独奏..... | 独奏 伴奏 | 登 坂 美 智 子 竹 永 元 子 |
| オリエンタル | ク イ | 作曲 |
| チゴイネルワイゼン | サ ラ サ ー テ | 作曲 |
| 23. 独 唱..... | 独唱 伴奏 | 広 岡 義 一 出 口 尚 |
| 金髪の日 | フ ォ ス タ ー | 作曲 |
| 君が姿見し日より | フ ロ ト | 作曲 |
| 24. 混 声 合 唱..... | 合唱 指揮 | コ ー ラ ス 部 若 城 正 博 |
| 雪の降る町を | 中 田 喜 道 | 作曲 |
| 春の丘 | 水 谷 知 | 作曲 |
| 聖なるかな | シュ ー ベ ル ト | 作曲 |
| ほろほろ鳥 | 下 総 院 | 作曲 |
| 25. 吹 奏 楽..... | 演奏 指揮 | 器 楽 部 員 橋 本 順 造 |
| 行進曲「ボギイ大佐」 | ア ル フ ォ ー ド | 作曲 |
| 幻想曲「荒城の月」 | 三 戸 知 章 | 編曲 |

曲目解説

器楽部

☆ 行進曲 “双頭の鷲の下に”

この曲は勇壮明瞭な行進曲で多くの吹奏楽団が好んで演奏する名曲です。元来はピアノ曲ですが、今日では吹奏楽曲としてあまねく有名になっております。

☆ 行進曲 “士官候補生”

この曲の作曲家スーザは丁度円舞曲の大作曲家ヨハン・シュトラウスが円舞曲の王といわれたように、行進曲の王と呼ばれています。“士官候補生”はそのスーザの名曲の一つです。

☆ 行進曲 “勝利の父”

これはフランスの行進曲です。フランスの行進曲は感じが華々しくて熱情的です。この“勝利の父”はその最も有名の一つです。

☆ 行進曲 “ボギイ大佐”

最近多くの吹奏楽団が好んで演奏し、又皆さんにも良く知られている映画“戦場にかける橋”の主題歌“クワイ河マーチ”の原曲でもあります。行進曲としては第一の風格を持ち、気品の高い佳作であります。作曲家ケネス・アフォードは英国の作曲家で、この曲は“Colonel Bogey on Parade”というレヴューの中で演奏されたものです。

☆ 幻想曲 “荒城の月”

日本の代表的作曲家、滝廉太郎の“荒城の月”を三戸知章が編曲したのがこの曲です。滝廉太郎は西洋音楽のリズミカルな面や、整った形式など、その他いろいろの方面のよさと日本音楽の優美な品格とを巧みに融合させ、現在我々に親しみ深い名曲を数多く残しています。

コーラス部 (混声合唱)

☆ “月夜とピエロ”

我国の代表的詩人堀口大学の詞を、清水箒が合唱用に作曲したものである。元来は男声合唱用のものであるが、今回は混声で5曲のうち前記の3曲を演奏します。男声のダイナミックな味に比する混声の幅広いハーモニーをお聞き下さい。特にこの曲では詞に歌われた内容を表現する事に苦心しました。願わくばそこまでをも聞き取って下さい。

☆ “雲の降る町を”

日本のシャンソンといわれる、誰でもがよく知っている淡い感傷を含めた佳曲です。女声合唱を愛す中田喜直の数少ない混声編曲のうちの一つです。どうぞ皆様も共にうたって下さい。

☆ “暮るる丘”

本校の現校長清水敬治氏の詞に大阪学芸大学の水谷氏が作曲された我々には興味のある曲だ。校長の青年期の作品であると推察される美しい詞は我々をして彼をより身近に感じさせる。とにかくこの曲を聞いて、校長の意気揚々たる青年時代を想像しようではないか。

☆ “聖なるかな”

本年度毎日合唱コンクール課題曲
シューベルトの“ドイツミサ曲”よりの一曲。元来ミサ曲は教会において行われた音楽ですが最近では合唱・リサイタル等でしばしば演奏されています。全く単純な和声の連続ですが、勉強につかれた我々の魂をなぐさめてくれるでしょう。

☆ “ほろほろ鳥”

我々は過去2年間下総統一氏の曲で毎日コンクールにおいて、第4位を確保して来ました。そこで今回も、彼の作品をコンクール自由曲として選びました。彼は、現在最も将来を期待されている作曲家で、彼の曲は実に楽しく聞ける曲です。作家の北原白秋氏は、今さら言うまでもなく、現代詩人の第一人者です。

コーラス部 (男声合唱)

☆ “ロード・アイ・ウォント・トゥ・ビー・ア・クリスチャン”

アメリカ南部に送られて来たニグロの唯一の楽しみ、それは何だったでしょう。現世をあきらめていた彼等には何が残されていたでしょう。それは来世に対するおこがれです。そして来世を信じて「父よ私は信者になりたい。信者となって早く父のもとに行きたい。」と願う歌、それがこれなのです。

☆ “アニー・ローリ”

「おお美しきアニーよ。貴女はきっと帰って来る。冬が去り、春が来ると貴女は帰っていらっしやる。私はその日まで貴女を待っております。おお美しきアニーよ。」と去ってしまっただアニー・ローリという少女を慕う青春賛歌です。

箏曲部

☆ “まりつき”

“まりつき”は一度戸山勝彦さんが独奏されましたが、それを合奏にしました。作者の幼時の追憶から撥音を使って子供の遊びの感じを表現した曲だけに、じっと聴き入ると子供の頃の遠い過去が真珠の輝きにも似て美しく蘇って来ますが、合奏に試みたために感じはどう変わるかそれはおたのみしと言ふ所です。

☆ “三つの民謡”

皆さまによく親しまれている日本民謡、お江戸日本橋と会津磐梯山と木曾節の三曲をお送ります。この曲は民謡調を取り入れ、いかにも日本古来の風俗をよく表わしています。皆様も声をそろえ手拍子をとって歌い、この美しい民謡を楽しんで下さい。

☆ “せきれい”

静寂なる溪流のたぎつ瀬を描写し、瀬に居るせきれいの尾をふるさまを巧みに表現し、曲の終りにおいて「せきれい」がバットと飛び立つ感じを出してあります。又、独唱を加えてより一層繊細優美な感じがします。

立体レコードコンサート

10月3日(金) 午後1時 於 講堂

1. “王様”ブラード イン ウルトラ Hi Fi
ク・ク・ル・ク・ク・パローマ
マチャカ ドラム・スペシャル
(ベレス・ブラード楽団)
2. “魅惑の東洋の旅”
夜 来 番
宵 待 草
宵 炭 坑 ラ ブ ソ デ ィ ー
出 船
(マルマンド・フェデリコ楽団)
3. ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品61……………ベートーヴェン
ヴァイオリン ハイフェッツ
オーケストラ シャルル・ミュンシュ指揮
ボストン交響楽団

エジソンが円筒レコードを発明して以来、今日ではEP・LPまで進歩し、音質・雑音周波数レンジもすばらしく良くなりましたが、音の左右の拡がりとか、遠近感という点ではまだまだかけ離れています。そこで2つのマイクを少しはなして別々に録音し、2つのスピーカーで同時に再生する方法が考案されました。こうすれば楽器の位置が録音した時の場所で聞えます。これはN.H.K.の立体音楽堂で聞いてよく御存知と思いますし、又昨年の音楽会で行いましたようにテープの上下に録音することによっても解決出来ますが費用、扱い等々の点で一般的でなく、又レコードの内側・外側に分けて録音する方法も作られましたが、日本では使われていません。そこで日本で出来上がったのが45-45方式のステレオ(立体)レコードです。これは2本のマイクの入力を力学的に合成し、1本の溝に録音し再生する時は1本の針の振動をレコード面の垂線の両側45°に分解し2つのスピーカーから出す方法です。これで扱い方も簡単になり、両方の位相がずれる事がなく、家庭用としても非常に便利です。また完成を経て日が浅いので改良の余地は多く、性能の如何は皆様の耳にお任せします。尚比較的参考にSPとLPをかけて見ます。

第Ⅱ部 招待音楽会

原 智恵子 ピアノリサイタル

10月3日(金) 午後3時 於 講堂

- I ソナタ 第11番 イ長調 K.V. 331モーツァルト
- II ソナタ 第23番 ヘ短調 Op.57 “熱情”.....ベートーヴェン
- III a) 月の光 組曲「ベルガマスク」より.....ドビュシー
 b) ゴリウオッグのケーキ・ウォーク
 組曲「子供の頃分」より..... ♪
- IV a) プレリユード
 変ニ長調 Op.28 No.15 “雨垂れ”.....ショパン
 b) エチュード
 ホ長調 Op.10 No. 3 “別れの曲”..... ♪
 変ト長調 Op.10 No. 5 “黒鍵”..... ♪
 ハ短調 Op.10 No.12 “革命”..... ♪
- c) ワルツ
 変ニ長調 Op.64 No. 1 “小犬のワルツ”..... ♪
 嬰ハ短調 Op.64 No. 2 ♪
- d) ポロネーズ
 変イ長調 Op.53 “英雄”..... ♪



演奏者紹介

原 智恵子

1915年1月1日神戸須磨に生れる。1928年の春、わずか13才で渡仏し、ラザール・レヴィに師事する一方、アルフレッド・コルトーより指導を受ける。その頃よりすでに天才少女として楽壇の注目を一身に集めていたが、1930年15才で初の日本人としてパリ・コンセルバトワールに入学し、1932年には同校で一等首席賞を授与されて卒業する。1935年にはフランス政府(外務省)の招きで留学生として再度渡仏し、コルトー、ルビンシュティン、ラザール・レヴィに師事した。又、マルパンシエルによって音楽史をも学んだ。1937年にはポーランドの国際ショパンコンクールで特別賞と名誉賞を受け、世界的ピアニストとしてますますその名声を高めた。その年、ポーランド大統領の招待により官邸で演奏をする一方、ポーランド各地で演奏、ベルリン、ザールで独奏会を開いて各地を廻り、日本大使館主催のワルシャワ国際外交団の招待演奏のためポーランドに戻り、1938年夏に帰国。1939年、欧米演奏旅行に出発しサンフランシスコ、ニューヨーク、さらにパリ、ロンドン等で演奏会を開催、パデューシヤトルを初め幾多の交響楽団と協演した。1950年にはハワイ交響楽団の招請で同地へ演奏旅行をし、1953年にはパリ・コンセルバトワールの審査員として招かれ再三渡仏、同時に欧州各地を演奏旅行し、1955年10月に帰国する。1957年にはチェロのヘルシャー来日の折、辻久子氏とトリオで演奏し同年4月には神戸女学院大学教授となり、後進の指導にも尽力されている。そして今年の春には、大阪芸術祭にフェスティバルホールにおいて世界的チェロ奏者カサードと協演しなお楽界の第一人者としてその名声をとどろかしている。

演奏者挨拶

此度は、私の生れ故郷関西の若い皆様方の前で演奏出来ます事を心からうれしく思っております。若い純真な感じやすい皆様と一緒に気持が流れあい交わりあって感激的な一時を持つ事のうれしさを思います。すべての事に成長の途上にいらっしゃる皆様方が私の演奏から何かとお感じになりくみとって下さって将来次の時代を美しくたくましく建設していらっしゃる時にそれらの事が何かのたすけになれば.....と祈っております。

(原 智恵子)

第12回 文化祭

10月4・5日(土・日) 午前8時30分 於 講堂

開 会 宣 言

1. 序 曲 記 念 祭 歌 コーラス部
2. 開 会 の 辞 文化部長 大賀九州男
3. 学 校 長 挨 拶 清 水 敬 治
4. 校 歌 斉 唱 全 員
5. 劇 “川 上 観 音” (1幕1場) 演 劇 部

<Staff>

演 出	橋 本 典 子	舞 台 監 督	島 田 隆 之
装 置	荒 井 禎 一	照 明	小 堀 忠 彦
	林 和 子		増 井 得 雄
衣 裳	三 浦 泉		高 橋 典 子
小 道 具	伊 藤 美 恵 子	効 果	高 津 孝 作

<Cast>

観世音ボサツ	野 上 雅 子	村の人A	近 森 啓 祐
和 佐 市	中 山 政 幸	” B	荒 井 禎 一
お と さ	魚 谷 喜 美 子		

6. バレエダンス “舞 踏 へ の 勧 誘” B・D 部

喜多川順子、平田美恵子、小野寺玉江、古橋 雅子

7. 研 究 発 表

I (4日)	ピンホールカメラの研究	物 理 研 究 部
	化 学 と 織 維	化 学 研 究 部
II (5日)	犬 山 城 ・ 登 呂 遺 跡	史 学 研 究 部
	原 生 動 物 ・ カ ビ	生 物 研 究 部

8. 本 舞 踊 “越 後 獅 子”

9. 劇 “縁 結 び 上 人” (1幕8場) 秋 山 作 代 志

<Staff>

演 出	山 口 明 美	舞 台 監 督	渡 辺 二 郎
装 置	大 池 仁 洋	照 明	門 脇 弘 子
衣 裳	池 田 信 子	効 果	小 山 巧
小 道 具	山 田 毅		

<Cast>

旅僧源来	門 脇 弘	名主弥敷兵衛	川 添 進 一 郎
旅絵師梅枝	井 上 元 久	その娘おもよ	津 田 信 子
村人幸助	小 山 巧	盗 人 A	池 村 雅 一
” 乙作	河 合 整 一 郎	” B	井 上 元 久
” 平造	高 垣 博	その他村の男女大勢	

一 昼 食 一

10. 賛 歌 合 唱 第10回記念祭賛歌 コーラス部
11. 英 語 劇 “Les Miserable” (2幕6場) E. S. S.

<Staff>

演 出	原 洋 子	衣 裳	丹 治 千 鶴 子
脚 色	”		柿 原 久 仁 子
舞 台 監 督	”		

<Cast>

Jean Valjean	橋 本 泰 一	Thenardier	今 井 敏 雄
Bishop	横 山 繁	Madam Thenardier	金 子 絃 子
Madam Magloire	榎 本 邦 子	Epinine	佐 久 間 啓 子
An officer and man	西 哲 男	Ayelma	西 村 雅 子
Cosette	広 田 瑞	Wagoner	矢 野 順 士

12. バレエダンス “コレクション” B・D 部

喜多川順子、平田美恵子、斧田美恵子、
小野寺玉江、古橋 雅子

13. 劇 “台 風 13号” (1幕1場) 演 劇 部

<Staff>

演 出	山 田 雅 己	舞 台 監 督	近 森 啓 祐
装 置	小 堀 忠 彦	照 明	中 増 井 得 雄
	荒 井 禎 一		高 橋 典 子
衣 裳	魚 谷 喜 美 子	小 道 具	三 浦 泉
	林 和 子		島 田 隆 孝
効 果	伊 藤 喜 恵 子		野 上 雅 子
	重 田 和 美	舞 監 助 手	高 津 孝 作

<Cast>

林田栄作	小 堀 忠 彦	庄 司	荒 井 禎 一
長 次 女	熊 谷 久 美 子	肥 田 町 人	近 藤 美 恵 子
三 女	橋 本 典 子	”	伊 藤 喜 美 子
長 男	福 井 正 子	”	魚 谷 喜 美 子
叔 父	高 津 孝 作	”	橋 本 典 子
太 田 じ 父	島 田 隆 子	”	野 上 雅 子
庄 作	太 田 名 喜 久 子		林 和 子
	中 山 政 幸		

14. 閉 会 の 辞 文化部经理 熊谷俊作

15. 終 曲 自 治 会 歌 全 員
- 閉 会 宣 言

公演の部解説

☆劇 川上観音 (柳原政常作) 演劇部

川上の観音様にお経すれば眼の病気は必ず癒るという土地の言えを信じて、めくらと、つんぼの乞食夫婦は21日の間祈願し続けました。そのかいあって、観音様より「今宵満願の夜半5体円満の身となしつかわす。」とお告げがあった。その日の夕方ふとした村人2人のいたづらにより、今迄信じていた夫婦は相手を疑うが又々そこへ観音様の爽やかなお声が響き、かたわ者2人は5体円満となる。そしてお互いの真実を見極め、一層信頼を強くした。しかしなまじ眼、耳が聞いたばかりに……。

☆バレエダンス 舞踏への勧誘 (ウェーバ作曲) B・D部

この曲はウェーバーが愛妻カローネに捧げる為作ったものである。舞踏会場で1人の紳士が若い婦人にダンスの相手をお願いして、終末においてその紳士の感謝とこれに対する婦人の答が取り交わされ共に退場するというのもともとの意味なのですが、これを舞踏会場で踊る4人の女の人の踊りに作りかえその様子を出してみました。

☆研究発表 ビンホールカメラの研究 物理研究部

ピンホールカメラ等と云うものは一時代前の遺物であると思われているというせいか現在では小学生の夏休みの工作ぐらゐにその姿をどめていただけであります。構造が簡単であるために思い通りのものが作れ研究には好都合であります。

簡単ではありますがレンズのついたカメラと違い色収差のない写真が撮れ、又望遠写真や広角写真なども容易に撮ることが出来、回折の研究にも役立ちます。今回は望遠カメラを主として部員の研究したピンホールカメラについて研究発表を行いたいと思います。普通としてカメラの60倍に写る望遠カメラ、2つのスリットを使って横が縮まって写るカメラなどの実物もごらんに入れるつもりです。

☆研究発表 化学と繊維 化学研究部

何故一般の人々は化学に親しみにくいのか？欧米では「呪われた科学」と呼ばれている化学はどれ程我々の文化生活に関係しているのか？又、我々の身边には、どんな化学変化が起っているのか？中でも繊維品は人類文化生活に一日も切り離すことのできなない衣料品をはじめ、各種生活用品としても利用されている範囲はきわめて広い。資料としてこれ程広く取り扱われ、一般大衆にとっても、これ程重要なものは、ないはずであります。実際には、一般消費者はともかく、その取扱業者等の繊維についての知識がないには驚かされます。ましてや、日本産業の中心として発達すべき化学繊維について日本人の知識不足には驚かざるを得ません。そこで我々化学研究部員は、この第10回記念祭を利用し、ナイロン、ビロン等の繊維を研究不足ではありますが、出来るだけ詳しく説明いたします。なお展示室には実物の繊維がありますから、どうぞ各自納得ゆくまで御研究下さい。

☆研究発表 犬山城・登呂遺跡 史学研究部

史学研究部の本年度の夏季見学旅行は初期の天守閣として有名な犬山城、古代日本の文化と生活を目で実際に見ることが出来る登呂遺跡とを見学してまいりました。

犬山城については昨年文化祭において発表しましたので御存知のことと思はします。日本の城郭は世界にも類を見ない独特な建物ですが、天守閣が現存している城は数えるほどしかありません。

登呂遺跡は戦時中偶然に見えられ、考古、人類、農業、建築、動植物、地質、土木等について総合的発掘が行われ、弥生式時代の部落跡等が現われ、同時代の生活状態や文化等を知るのに貴重な遺跡です。

以上のことについてスライド等によりわかりやすく説明致します。

☆研究発表 原生動物 生物研究部

我々微生物研究班は海水産硅藻プランクトンを芦屋沖で採集、分類し、原生動物の培養分離、分裂等の研究を行いました。この棲息所は淡水海水の中では他の動物に付いている場合が多く100倍位の顕微鏡をのぞくと種々のせん毛虫やアメーバが活動しているのが見られます。又原生動物は単細胞であるから多くの物は肉眼では見えない。しかしゾーリ虫は注意して見れば一点として見ると、池沼や水田等に多いラッパムシや海岸で取れる夜光虫も1mm位もあるから一つ一つ見る事が出来ます。これらの原生動物

物について我々の研究成果を発表しようと思います。

☆研究発表 カビ、生物研究部

東アジア人ほどカビを利用し、主働体とした醸製食品を食する国民は他に類を見ない。日常の食生活に味噌、醤油、麹、味りんで味つけしている。又医薬界に於いてもペニシリンの発見、ストレプトマイシンの発見等人間に寄与する事も重要である。しかし反面パンやモチにはえたり又米にはえて例の黄変米を作ったりする。このようなカビを培養し、いろいろの条件をあたえその変化を調べてみました。この度はその実験器具の扱い方や実験内容を発表いたします。

☆劇 縁結び上人 (斎藤豊吉作) 有志

今を去る事300年、奥州陸奥の国平和な村里での物語。突如として舞い込んだ泥ちゃん、最近やってきた旅僧源来が同一人物ではないかと、今も3人の村人達が噂をしているところに、名主弥惣の家へ兄弟泥ちゃんが入る。運悪く捕まってしまうが、旅僧源来が名主に彼等をゆるしてやってくれと願うので、泥ちゃんは改心してゆるされるが、名主弥惣は源来の行為に感心し、彼を高僧に立ててる。源来は遠方にくれたが……。それから10年後、源来は弥惣の愛娘「もよ」から相談を受ける。源来は「もよ」に思いを寄せていたので、自分の事と間違えてどきどきするが……。もよの彼氏の旅僧師「梅枝」が「もよ」を身ごもらせたまま家出したのを、和尚は自分に助けを求めているのだと知って引き受けた所が……。

☆英 語 劇 Les Miserable (Victor Hugo 原作) E・S・S

青年時代、一片のパンを盗んだ為19年間牢屋の空気をすったジャン・ヴァルジャンは釈放された日、誰にも相手にされなくて自暴自棄に陥っていた時すべてを神に捧げ尽した司教ミリエルの家を訪れ、彼のあまりにも優しく慈愛深い言葉に20年ぶりに心の底からの感謝と敬虔の気持ちにうたれるのだった。しかしその夜、ジャン・ヴァルジャンはその司教の銀の食器を盗み出した。あまりにも弱く、あわれなジャン！そして彼は巡査に連れもどされてその許しがたい罪を許す司教の寛大さに心を洗い浄めその日から彼は他人の為に自己を捨て尽し遂には市長マドレーヌと呼ばれ、市民の人望を集めるまでになった。その頃哀れな女ファンティエヌの臨床に際した時その娘コゼットの生涯の世話を引き受けた。コゼットの預けられているモントファームールのテナルディエの宿屋に急ぐ間夜、森の中でコゼットと会った。彼女は宿屋のおかみさんにいじめられてやせほそりいじけてあわれな姿に声も出ない程であった。翌朝、主人テナルディエとの取り引きの結果、コゼットをテナルディエ夫婦の魔手から救い出し、彼等はそらって運命を共にしていく……。

☆バレエダンス コレクション (B・D部創作) B・D部

イギリス、スウェーデン、中国、アメリカ、日本等の民族的な踊りを少しくずして作りかえて集めたものが之です。第1番目のイギリスでは兵官の深い帽子をかぶった近衛兵がちょっと玩具の機に見える所から、これをおもちゃの兵隊に作りかえてみました。第2番目のスウェーデンでは北欧の元氣な少女の姿を、第3番目の中国では2人の可愛い子供の踊りを、第4番目のアメリカではサボテンの茂る西部の明かっている青年達の有様を描いてみました。そして最後の日本では日本独特の民謡を皆の踊りにぎやかに終ります。

☆劇 台風13号 (久板栄二郎作) 演劇部

この戯曲は日本人の哀しい心情がテーマです。死んでお詫びする。死んで証を立てる。というあのころころねである。世間もまた、死に会えば、すべてのことわりを忘れてくれる。これは日本人のセンチメンタリズム、物事を合理的に考えないことから来てるものだろう。長い封建制の社会の中でつかわれた哀しい心の習性であろう。妻が山崩れの下敷になった。助けを求めて呼んだのに答えて近所の人々が駆けつけてくれた。ところが再度の山崩れがあり、駆けつけてくれた人も又不慮の客となった。まことに痛ましい事態ではあるがこれは責任が誰に依るという性質のものではなからう。林田栄助はひたすら自分の責任と考え、何としても償いをしなければと思いつめる。近所の人々も又自分達の不幸はすべて林田に原因があるように思いこんで一家をうらみ村八分的な追いつめ方をする。そして栄助の死によってはじめて和解が成り立ち救いが生れたのである。

我々は林田栄助が保険の解約を思いとどまった日から一日一日を指折りかぞえながら過した1年間のそのうちに眼をすえつつ、何ものかに対する激しい憤りをそこに表現しようとする。

展示の部解説

☆山 岳 展 (215号教室)

原始生活と近代生活をミックスしたようなものが山登りの実体です。だてや酔狂で山登りをやっているのではなく、登山家は細心の注意と決断力をもって山に臨んでいるのです。その必須の条件である道具を皆様の視覚に訴える為列年通り種々展示致します。そして道具の使用法を理解下さる様お願い致します。

☆放 送 展 (214号教室)

世の中もテレビ時代となりFM放送も始まって放送電波はますます社会に重要性を増してきました。そこで我が部では今年初めて展示を行い、生徒諸君及び一般市民の方々に電波に対する関心を深めてもらおうと思っています。展示物は高、低周波の各種機械それに受信機、送信機、その他の図解説明、放送関係の統計、グラフ等を掲載し、テレビ受信機を3台そなえ、又部員の中にアマチュア無線の許可を得ている者がいるので、全国各地との交信を行います。又機械類の実験は随時行います。ラジオや簡単な電波関係の機械の故障がありましたらいつでも相談及び修繕を致します。

☆化学研究展 (化学実験室・213号教室)

例年とは全然趣の異った醋酸ビニール、プラスチック等の合成樹脂或いは各種人造繊維、インクの製造、幻想的な美しさのケミカルガーデン、それにサッカリン、化粧品品の製造等を準備しております。特に化粧品は夏休みにP会社を見学し、色々と研究しましたので、必ず市販品に劣らぬものができると思います。又人間に欠くべからざる繊維を実物と共に皆様方に、よりよい知識を得て頂く為に分りやすく御説明致したいと思います。

☆茶 道 展 (210号教室)

茶道の元祖、千利休の一代について簡単にまとめてみました。茶道とは今の私達には余りに「古くさい」という感じがしやすいですが、この展示によりたどり方を覚えるだけでなく現代の茶道に到るまでの経過を知ったり、茶道の本質をみきわめたりしてもらいたく思います。

☆書 道 展 (220・221号教室)

書道部では、例年の展示とは趣向を変え、日頃の練習の成果を多に発揮した部員全員の力作を展示します。作品の形・書体等も豊富にし、野村先生をはじめ有名書家の作品及び他校書道部の賛助作品等も展示する予定です。※席上揮毫を会場及び講堂においても行います。

☆写 真 展 (230・231号教室)

例年と趣向を変え、本年は全紙(例年の4倍)による部員の力作を会場一杯に展示します。これによって1人でも多くの人に写真芸術の良さが分っていただければ幸いです。又会場の許す限り体育祭その他記念祭に取材した写真も展示し一部実費販売も行います。

☆華 道 展 (230・231号教室)

華道部は従来より小原流のもとに練習を行っております。流儀にとらわれず個人の感情もと入れ主に盛花を中心に展示します。盛花・瓶花ともに自然本位の写実傾向と色彩本位の非写実傾向とに分かれその中の傾斜型・直立型・下垂型・直上型・対称型を部員が分担していきます。

☆物理研究展 (物理実験室)

物理現象と家庭生活を結びつけて物理を身近なものとしていただくために一般的に興味深いものを多く展示しました。最も一般的な家庭用のラジオをバラックに組んだもののボール箱の針穴写真機、又昨年も出品した超望遠針穴写真機など及びこれらで撮影した風景写真、日食写真なども展示します。又ラジオコントロールの応用としてこの装置をポートにつけてみました。高周波の発生は簡単な装置ですがこれの大きなものは、ハ

ットを範線したりクラッカーを焼くのに使われています。光線電話、これは光に音をのせて送り又光と音にもどす一種の無線電話です。(光も又電磁波です)その他トリオの9R-4通信型ラジオ、太陽炉、FMラジオ、物理の基礎実験設備なども展示します。

☆自治会展 (223号教室)

※新鮮な自治会展、われわれはこれを一大目標として芦高自治会の目覚ましい活躍ぶりを表わし、芦高生誰でもが自治会活動に深い関心を抱いていたかどうかのような項目に従って展示します。先ず展示の核心は日頃余り親しまれていない予算について深く研究し発表します。その一環として過去の各部予算の変遷、全国各地のいろいろな高校との対比等を示し、一目で分るものにししました。また従来自治会展は固苦しいという意見が相当ありましたが、それを「全国高校自慢めぐり」と銘打って全国各地の高校の自慢、特色とするところを展示することによって解決しました。その他先輩の輝やかしい成績を旗、カップ等で展示し、又各クラブの活動状況を写真等で発表します。最後にわれわれの誇りとしている記念祭の10年の変遷を資料等で明確に示し、記念祭に対する新たな認識を深めていただきます。

☆社会科学研究展 (224号教室)

先ずブラジルとはどんな国であるかという事を写真、絵はがき、模型地図、手工芸品グラフ等で説明し、次いでこの国に移住する人達の移民に対する考え、現地の生活状態職業分野、移民する手続、その他いろいろの事を知ってもらう為にブラジル日本文化協会、日本にある日伯協会、海外協会等の提供による資料、現在の現地移民からの手紙、本、最初の移民船「笠戸丸」の模型、県提供の資料等を展示します。

☆趣味の展示 (314号教室)

いつの時代にも、どの地方でも学生は買ったコレクションをするようです。そこで現在の芦高生はどんなコレクションをしているか調べ、一つの部屋に集め頭の休憩室としました。これを名づけて「趣味の展示」です。この頃ブームになっている切手や、新聞の題字などを頭に広い範囲の諸々のコレクションを集めました。初めての試みです。どんな物が集まるか解りませんが意義のあるものは別として気軽な気持ちで御覧下さい。

☆鉄道研究展 (325号教室)

今年の実物展示関係は旅行の記録写真と解説に重きをおきます。それと台車についての研究発表、阪神300型(現在特急用)の台車の320大の模型を展示します。模型展示関係は例年のレイアウトはやはり0番D・C(直流)2線式でスペースは去年の約2倍8×4m総延長約60mという大レイアウトです。車輪は阪神ジェットカーを筆頭に阪急・国電・近鉄等となかなか華やかです。

☆史学研究展 (324号教室)

今年の部の研究題目は「対外関係、としたので日本と外国との関係を模型・写真・図等で時代に沿って展示します。

模型は
1. 中国と日本の立体地図、遣唐使の航路や関係都市を豆電球で示し、遣唐使船の小形模型も描えます。
2. 鎖国時代唯一の開港出島
3. 大平の眠りを醒した黒船、夏季見学旅行で犬山城と登呂遺跡へ行って来たので写真や模型を発表。今年は全時代について調べたため、余り詳しく突込んだことは出来ませんが、日本の歴史の流れ、特に外交の移り変りを知って頂くよう発表します。

☆数学研究展 (323号教室)

1. 本校実地 測量の結果を表わした模型測量。始めて丸10カ月の労作。
2. 摂丹地区 模擬試験成績の他校との比較累積度数折線グラフによる比較。本校の成績は?
3. 過去5カ年間の本校卒業生学校別志望者数の変遷。本年初めての試み。
4. ユーモア数学史 深奥の数学史の概略
5. 数学遊戯と余談 1年生の出品
6. 大懸賞。毎年好評を博している懸賞も今年は形式も新たに出題しました。多数御応募下さい。

☆天文気象研究展 (322号教室)

この広い天体の極く一部ではありますが、我々部員の手で観測し研究した以下の事に関して発表します。

1. 観測記録の発表
 - 4月19日の日食観測の展示
 - 太陽面観測の展示
 - 流星塵の研究発表
2. 今年の空梅雨について
3. 月に關する研究

☆被服研究展 (321号教室)

被服研究部員の作品及び家庭科選択生徒の作品を展示します。
内容は洋服関係の物と手芸関係の物を半々にし、スーツやワンピース等の被服類は出来るだけボディ(人体)に着せて立体感を出させ、手芸品ではローケツ染や押絵を初めとして、テーブルセンター、袋物、壁掛等々々の作品を展示します。
又可愛いフランス人形が部屋を彩りささやかではあります、部員が夏休みに手分けして作ったエプロンやハンカチーフ等の手芸品のバザーも致しますから多数御利用下さい。

☆美術展 (美術教室、書道教室)

そもそも美術とは何か……。
そういうかた苦しいことはやめて、気軽に鑑賞していただきたい。美術部員が日頃血と汗を流して努力し美術に対する熱情を吐露した個々の作品からそれをくみ取っていただければと思います。絵を描いている時が一番楽しいという部員の気持ちを理解していただくだけで充分です。

☆生物研究展 (生物第I教室)

今年は、ダーウィンが進化論の自然淘汰学説を発表して100年になりますので、各国でその100年祭が開かれています。それで我が生物研空部も100年祭に因んで進化論をテーマにしました。ダーウィンの進化論をもとにして北米の馬の頭骨、前脚の進化の模型やラマルクの用不用説から脊椎動物の前脚の骨組の比較の模型や新生代に初めて人間が現われてから現在までの過程を色々と平面模型に示して説明したもの、地質時代一覧表及び生物界の移り変りを時代的に説明した模型や図で進化論を詳しく説明しております。尚長期実験の一つとして芦屋近海の魚類採集や海岸生物等も展示しております。

☆図書展 (図書館)

昨年行いました「芦屋文学ゆかりの地をたずねて」の範囲を拡大した「全国文学散歩」を中心に種々の統計、特に他校と本校の読書傾向を比較した統計、今年度上半期のベストセラーズの統計等をグラフに表わし又例年行っているように各新聞名の写真ニュースの重大なるものを抜萃して正面に掲示します。新しいものでは図書部の日頃の活動をはっきり認識していただく為に「図書部はどの様な活動をしているか?」と題して展示します。その他昨年好評を博したレコードコンサートを皆様の投票により曲目を選び行います。

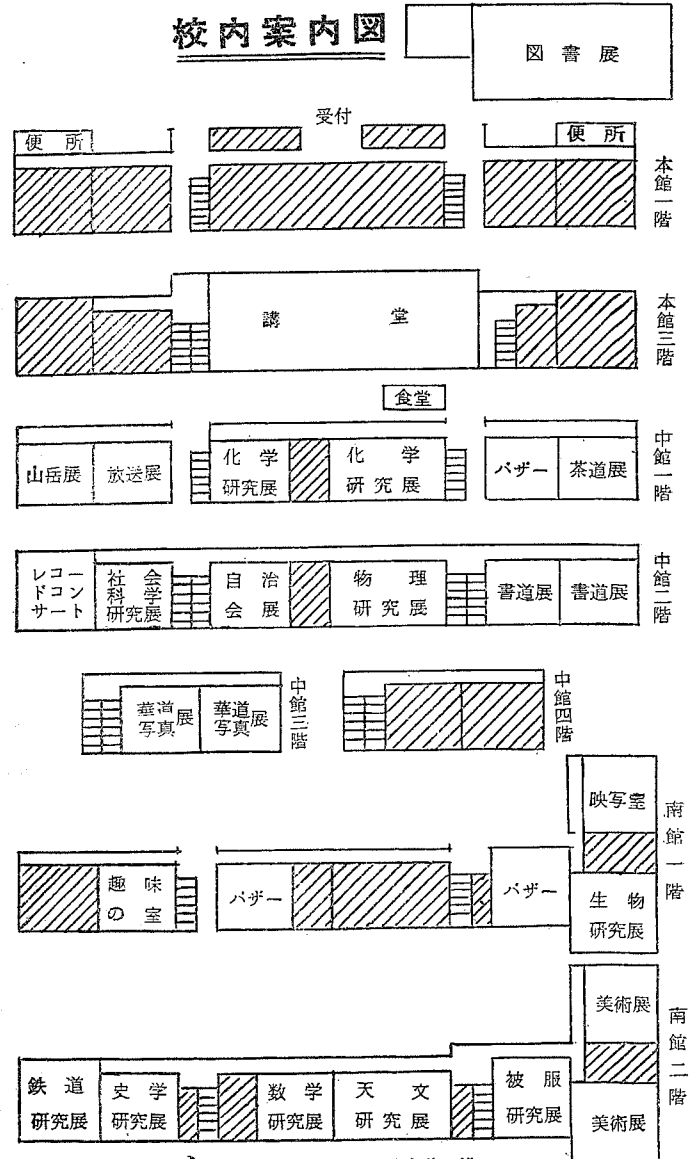
☆映写室 (生物第II教室)

- | | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| I 10月4日(土) a.m 10:00, p.m 12:30 | II 10月5日(日) a.m 10:00, p.m 12:30 |
| (1) 我が町(日活) | (1) 限りなき前進 |
| 文部省選定、31年度芸術祭参加作品 | 第3回アジア大会の全容を網羅した |
| 原作: 織田作之助 | 長編記録映画 |
| 主演: 辰巳柳太郎, 南田洋子等 | (2) ニュース(マンガ) |
| (2) ニュース | (3) 短編文化映画 |
| (3) マンガ | |

☆レコード・コンサート (225号教室)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| I 10月4日(土) | II 10月5日(日) |
| a.m 9:00 放送部主催 | a.m 9:00 図書部主催 |
| 魅惑のフランス、その他 | ベートーヴェン作曲交響曲第5番「運命」その他 |
| p.m 12:00 図書部主催 | p.m 12:00 放送部主催 |
| シューベルト作曲交響楽「未完成」その他 | 「世界めぐり」その他 |

校内案内図



記念祭本部・本館二階東階段横

運動部記念試合

1. サ ッ カ ー 10月4日 午後1時 於 大運動場

兵庫県立神戸高等学校 対 本 校

県下はおろか全国的にもサッカーの名門として知られている県立神戸高校は、最近では昭和30・31年に国民体育大会に、31・32年には全国大会に県代表として出場する等非常に輝かしい成果をおさめているが、今年も8月に本校を接戦の末1-0で破り国体の出場権を得ている。チームの特色は非常にまとまりが良く、殊に動きの鋭さにおいては抜群であり注目の的となっている。現在のチームは前述の試合の他にジュニア県大会準決勝でも対戦し、その時は本校が2-1で勝利を得ている。

2. ラ グ ビ ー 10月4日 午後3時 於 大運動場

兵庫県立神戸高等学校 対 本 校

本校運動部で正式な唯一の定期戦であるラグビー部の対県立神戸高校戦は、昭和30年より毎年1回行われているが、これまでの戦績は初戦を神戸高校が飾り以後2年は本校が連勝して、2勝1敗となっている。神戸高校ラグビー部は一中時代からの伝統を受け継ぎ、練習量も可成り多く、プレーは地味であるが堅実性があり、県下でもAクラスに属しダークホース的存在として注目されている。

3. 軟 式 野 球 10月5日 午前9時30分 於 大運動場

尼崎市立尼崎高等学校 対 本 校

県下軟式野球の名門として知られている市立尼崎高校は本年度全国大会兵庫県予選に準決勝で鳴尾と対戦し惜敗、ベスト4に残った。チームの特色としては、投手力が非常に強く投手中心のチームとも言えるが、バックの守備も強固で良くまとまっている。今年になって1度オープン戦を行っているが3-1で本校の勝利に終わっている。

4. 硬 式 庭 球 10月5日 午前10時 於 テニスコート

兵庫県立西宮高等学校 対 本 校

県立西宮高校硬式庭球部は、団体では甲南、灘、本校と共に県下ベスト4の実力を備え、個人ではしばしば全国大会にも出場者を送っている。チーム全体のまとまりが非常に良く、特にダブルスでのコンビネーションにはこれが良く表われている。本校とはこれまでに団体戦としての試合を行ったことはないが、各大会における個人戦では接戦を演じている。当日は両校共に2年生が中心となって、シングル3、ダブル2の5試合による団体戦を行う。

バザール
自治会主催

公益事業費獲得

○食 堂 (軽食・喫茶)

○売 店

○手 工 芸 品

○楽 焼

記念祭期間中適時所要所で行う。

今年のバザールは経営・衛生面の向上を考え、期間・場所・内容等についても出来るだけ利用者の便宜を計るように計画致しました。又新たな試みとして手工芸品関係のバザールも展示即売の形で合わせ行いたいと思います。公益事業費獲得の上からも多数バザールを御利用下さるよう御願致します。

役員表 I (太字は係主任)

休 育 祭

係名 (リボン)	職 員 名	担当部名	生 徒 名
総務 (桃色)	衣笠、井上 ^良 、石田 ^貴 、 李谷、金坂、千速、丸茂 山田、熊谷、伊東	執行委員会	佐野、池本、足立、吉岡、大賀、 中崎、島尾、岩本、堀本、藤原、 石黒
会計	近藤		千速
進行 本部 連絡 (黄色)	多田、岩村、 深井、古川、前嶋	体 操	中崎、池本、奥宮、川添、中村 緒方、山田、森
審判 (藍色)	藤原、木田、石田 ^良 、大 松、碓井、奥田、山口、 津本、中西、忽那	陸上競技 ラグビー	佐藤、堀、近藤、磯島、久保、山 取、小林、今井、河合、浜崎 長谷川、小川、吉田、林、近藤、 北口、西野、拓穂、石本、真壁、 平沢、谷、藤波、日置、溝口、浜 野、奥田、室本、佐久間、小幡
記録 (青色)	小松、井上、佐伯	卓 剣 球 道	山形、大仁、繁本、戸田、 中俣、近藤、岡垣、渡辺
会 場 (赤色)	津田、永井、川村、片岡 塚本、伊藤	硬 軟 山 軟 水	庭 庭 岳 岳 泳
賞 品 (青色)	野村、千葉、金川	有 志	助野、久米、津田、奥野、池上
召 集 (茶色)	松本、前田、野間、安田 谷川、岡崎	硬 野 柔 道	各クラス体育祭役員 石川、藤、中道、堀口、岸下、吉 田、鈴木、村井、龜山、北島、四本 北山 牧野、倉田、橋本、越田、長尾、 藤田、河中
用 具 (橙色)	金崎、佐野、桧垣	バレー サッカー バスケット	高島、三多、志田、勝呂、高橋、 大封、湯谷、土井、伊藤 佐野、西垣、笹倉、竹田、秋月、 樋口、井上 植田、鈴木、西川、室崎、山田
放 送 (緑色)	岩田、出口	放 送	浅田、南、田中、堀、小原、野口、 今村、吉田、助野
受 付 待 待 (紫色)	寿賀、魚崎、山本、辻田 立花、武藤、河野、三木 福山、日野、大友	軟 庭 } 女子 硬 庭 }	田中、齋藤、山田、清水、山本 西川、安原
救 護 (白色)	土井、波多野、富永	バレー女子	小幡、関矢、進藤、三村、沼本、 岩井

役員表 II (太字は係主任)

鑑賞会、講演会、音楽会、文化祭

係(リボン)	職 員 名	生 徒
総務 (桃色)	衣笠、丸茂、千速、山田、石田 ^貴 、 李谷、金坂、井上 ^良 、伊藤、熊谷	佐野、池本、足立、吉岡、大賀 中崎、島尾、岩本、堀本、藤原 石黒
進 行 (黄色)	奥田、出口、浦川	大賀、曾和、越田、暮部、吉田 広沢、泉
会 計	近藤	千速
舞 台 管 理 (青色)	古川、木田、千葉、岩村、山口、	小川、直吉、渡辺、山下、平井 新美、村井、今井、田中、近藤 平野、小林、松岡
放 送 (緑色)	岩田	浅田、南、田中、銅、小原、野口 今村、吉田、助野
管 理 校 内 (赤色)	(校内)多田、松本、津村、石田 ^良 、 忽那	(講堂)長谷川、吉田、西野、真壁 藤波、日置、奥田、佐久間 倉田、橋本、長民、藤田
講 堂 (茶色)	(講堂)深井、井上、前田、新堀 碓井、桂、津本、安田、佐伯、 金川、永井、川村、塚本	(展示会場責任者)三輪、中野、 増田、宮内、原、前西、本庄 岸下、田中、白木、池田、 四宮、正木、泉、遠山、浅 田、柴田、池上、興善
バザー (白色)	(バザー会場)藤原、大松、伊藤、 辻田	(バザー各係責任者) 運営：高橋、立入、吉田 受付：岡、塚井、西川 売店：小幡、田中、西川、古 籾、原、坂上 調理：荒木、岡本、門、河野 林、山口 準備：中川、西垣、市原、伊 藤、小原、小幡、水原
	(図書館)小松、片岡、武藤、河野	サービス：助野
受 付、接 待 (紫色)	寿賀、立花、佐野、三木、日野、 福山、大友	向畑、横山、今村、小幡、塚井 森田、沢井、岡、
救 護 (白色)	土井、富永、波多野	重久、植岡、市原

第十回記念祭賛歌

作詞 李谷舜造
作曲 今村宣子

♩ = 100-106

すめろひとみのいろふかくあき
のきみつゝるかんなづきよき
つきよきひいまこころにあ
あめぐりくるきぬんさい

- 一、澄めるひとみの色ふかく
秋の気満つる神無月
よき月よき日いまここに
あめぐりくる記念祭
- 二、十とせの歴史刻みきて
伝統の炬火また新た
いざわが友よ青春の
幸を歌はんこのつどひ
- 三、技芸の秋の祭典に
掲ぐる理想君見よや
自由創造純潔の
みどりになびく旗の風
- 四、流転の世相貫きて
希望の星と輝ける
若き生命のよりどころ
あめぐりくる記念祭

第10回記念祭を迎えるに当って過去の歩みをひもどいて見る時、自由・創造の精神に育まれた伝統の偉大さに驚嘆の念を抱くとともに、将来この若き意気と情熱の祭典の揺ぎなきことを祈り、新しき躍進を期待したいと思う。

ここに成立を見た第10回記念祭賛歌は、われわれに新たな感激を呼び起し、大いなる希望と確固たる決意を抱かせるであろう。

作詞は、本校国語科担当の李谷舜造先生の御協力を願ひ、作曲は多数の応募より厳選の結果、三年F組今村宣子さんの作品に決定した。

記念祭歌

作詞 岡本 仁
作曲 池尻 景順

moderato

しじんダンテのじよーねーつが
いまわがむねーにたかなりぬあし
こうせいがせんとうにすす
めーにほんのルーネーサシス

1. 詩人ダンテの情熱が
今我が胸に高鳴りぬ
芦高生が先頭に
進め日本のルネサンス
2. 東に西に芸術を
めづる心に隔てなし
飛鳥仏のくちびるに
ギリシャの神の微笑あり
3. 自由を右手に左手には
理想をかざす文化祭
アポロの神に盃を
高く捧げて乾さんかな
4. 美の祭典のかがり火を
今宵囲みて歌うべし
我が青春に幸多し
我が学園に幸多し

〔表紙図案 2年I組 小堀忠彦君〕